



株式会社MANIX
代表取締役社長 **松田 幸治**

リフォーム需要開拓に期待大 「住宅版エコポイント制度」発進!

家電エコポイントやエコカー減税に引き続き、政府は、地球温暖化防止と景気浮上緊急対策の一環として、省エネ性能が高い住宅の建設・リフォームにポイントを与える「住宅版エコポイント制度」を新設。ポイント付与と商品への交換申請が3月8日に始まりました。TOTO(株)とYKK AP(株)は、この制度の創設を機にこれまで以上に連携を強化し新制度を生かして共同でリフォーム需要を開拓しているのだそうです。そこで、TOTO(株)神戸支店支店長の浮田光博さんと、YKK AP(株)神戸支店 支店長の坂田修一さんに、住宅版エコポイントの概要、両社の取り組み、リフォーム需要への期待などについてお話を伺いました。

エコリフォームとエコ住宅の新築が 住宅版エコポイントの対象に

松田:まず、住宅版エコポイントとはどのような制度なのか、教えてください。

坂田:住宅版エコポイントは、地球温暖化対策と景気回復の両立を目指して創設されました。環境性能の高い住宅にポイントが付与するというもので、新築とリフォームが対象となります。新築は、近畿地区の場合、平成11年度の次世代省エネ基準を満たしていれば、一律30万ポイントが与えられます。1ポイント1円ですので、30万円に当たります。リフォームの場合は、① 窓のエコリフォーム、② 外壁・屋根・天井・床の断熱改修、③ ①と②を併せたバリアフリー改修が対象です。④ バリアフリー改修は「窓の断熱改修」または「外壁・屋根・天井または床の断熱改修」工事と合わせて行う場合に対象となります。

松田:YKK APさんに関連するのは、窓のエコリフォームですね。
坂田:窓のエコリフォームは窓の断熱改修がポイント発行の対象で、内窓の新設、外窓の交換、ガラス交換の3パターンがあります。私どもでは現在、「ブラマードU」というエコ内窓の販売を進めていますが、これは、内窓の新設に適合します。今ある窓の室内側に追加取り付けするということなので、二重窓になるため断熱性能が格段にアップし、冷暖房効率も上がります。

松田:ポイントはどのくらいつくのですか。
坂田:内窓交換のポイントは面積によって大中小の3段階に分けられ、大は18,000、中は12,000、小は7,000ポイントが付与されます。既存の窓をそっくりペアガラス以上の断熱窓に変える外窓交換は内窓交換と同じ。既存窓のガラスをアタッチメント付きペアガラスや断熱ガラスに交換するガラス交換の場合は大7,000、中4,000、小

2,000ポイントとなっています。(エリアによって断熱性能の基準が違います。)

松田:ポイント発行対象となる工事の期限は決まっていますか。
坂田:エコリフォームのポイントは、平成22年1月1日から12月31日に工事着手し、1月28日以降に工事が完了、引き渡されたものが発行対象となります。1戸あたりの限度は30万ポイントです。持ち家・借家、一戸建て・共同住宅の区別なく対象となります。ただし、予算枠が1000億円

と決まっていますから、予算を使い切ったところで終了ということになるかもしれません。
松田:新築の場合も、リフォームの場合も、発行限度額は同じ30万ポイントなんですね。
費用対効果を考えれば、リフォームの方がお得なのでは。

浮田:新築は、あらゆる面で省エネ基準を満たす必要があり、費用もそれだけかさみますから、リフォームが断然お得ですね。それだけに、リフォームの需要促進が見込めると期待しています。



YKK AP株式会社
神戸支店 支店長 **坂田 修一**

内窓新設、バリアフリー改修と 水まわりのリフォームを同時に提案

松田:節水型トイレや省エネに繋がるシステムバスなどがポイント対象になっていませんが、TOTOさんとしては、この制度をどのように活用していけますか。

浮田:TOTOの商材に関係するポイント対象項目は、現状では手すりの設置や段差解消などバリアフリー改修です。浴室の段差解消も対象となっていますので、その点をアピールし、ユニットバス関係の需要

掘り起こしにこの制度を活用していきたいと思っています。

松田:住宅版エコポイント制度を活用するため、実際には、どのような取り組みを展開していらっしゃるのでしょうか。

浮田:販促チラシを制作し、住宅版エコポイント制度に対する認知を図っているところです。まずは、バリアフリー改修などエコポイントの対象となるリフォームを、ショールームにいらしたお客様に訴求しています。今回は、8年前からアライアンスを組んでいるYKK APさんのブラマードUが内窓新設に合致するというので、全国の106カ所のショールームにブラマードUのサンプルを展示し、顧客に窓の断熱改修をご提案しています。

松田:エコリフォームで獲得したポイントを、他のリフォーム工事などに充当することもできるそうですね。

浮田:家電エコポイントと違って、今回は、商品券や地域特産品だけでなく、リフォーム工事費用や器具交換にもポイントを即時交換することができます。ですから、バリアフリーリフォームや窓エコリフォームをご提案させていただいたお客様に、獲得されたポイントを、浴室やトイレ、キッチンリフォームに充てられてはいかがですかと、積極的に働きかけていきます。省エネという切り口で、従来品と比べて使用水量を60%カットできる節水型トイレへの器具交換などがご提案できると考えています。

松田:獲得ポイントを設備交換に使う場合、続けて行う工事はすべて対象になるのでしょうか。

坂田:例えば、ブラマードUの設置で10万ポイント獲得されたらとすると、それを、浴室やトイレ、キッチンのリフォームなどに当てることができます。屋内なら、ほぼすべての工事に使えます。その10万ポイントは施工者に振り込まれることになります。

松田:ということは、お客様にはエコポイント分を差し引いた分をお支払いいただき、ポイント分は事務局に請求することですか。

坂田:そういうことです。もちろん、事前にお客様から、ポイントを例えば浴室のリフォームに使いたいなどと申請していただかねばなりません。

松田:申請はどのように行うのでしょうか。

坂田:エコポイント申請書、性能証明書、工事証明書、領収書、工事後の現場写真、申請者の確認書類などをそろえて、全国約3800カ所に設置されている窓口に向うか、事務局に郵送することになります。ポイントを追加的に行われる工事費に交換する場合は、エコポイント申請と同時に即時交換の申請をしなければなりません。

松田:ショールームのアドバイザーさんに対する教育も必要でしょうね。



TOTO株式会社
神戸支店 支店長 **浮田 光博**

浮田:制度自体を知るための社内講習会や、ブラマードUを中心とした勉強会を開催しています。アドバイザーが制度の説明、窓の説明、エコポイントに関連するバリアフリーの説明、即時交換の説明ができるように徹底しています。

水まわり工事業者に向けた 制度説明を実施

松田:私どものお客様は水道工事関係が多く、窓工事とは無関係な業種になりますが、TOTOさんとしてはどのように支援していられるのでしょうか。

浮田:現在、リモデルクラブでは、制度の説明を行っていますが、設備を専門にしていられる水道工事店さんにどのようにこの制度を訴求するかを考えていく必要があると思っています。パートナーさんに対しては、新商品講習などの際に時間を設け、この制度の説明を行っていきたく考えています。

松田:例えば、水道工事店がトイレや浴室の改修工事を引き受けた際、内窓を設置すればエコポイントの対象になると説明したとしても、内窓の工事は、専門業者に依頼することになりますね。

坂田:ブラマードUは室内施工で内外装工事の必要もなく、比較的施工が簡単です。水まわり工事業者の方々に向けた講習も行っています。施工力にもよりますが、講習を受けていただければブラマードUの施工は専門業者でなくても可能だと考えています。

浮田:ポイントを即時交換で水まわり工事の費用に充てていただくよう働きかけることで、水道工事店もエコポイント制度をさらに活用できると思います。いかに即時交換を訴求するか、そこに力を入れる必要がありますね。TOTOでは、キャンペーンチラシやお勧め推奨ガイドなどを制作し、具体的な提案を行いますが、業者の方々とも一体となって提案する必要があると考えています。

松田:住宅版エコポイントは、リフォーム需要拡大の追い風となるでしょうか。
浮田:日に数件、住宅版エコポイントに対するお問い合わせがあります。お客様も、大変興味をもっていらっしゃる感じが感じられます。それを、リフォーム需要拡大につなげていくには、この制度をお客様にしっかり認識していただくことと、即時交換を次のリフォームへと導く必要があります。

松田:メーカー、業者が手を携え、住宅版エコポイント制度をアピールしていくことが大切なんですね。

浮田:メーカーとしてエコポイント制度への取り組みはもちろんですが、環境配慮型商品を積極的に提案することも使命だと考えていますし、それがメーカーとしての社会的な貢献につながると思います。

松田:環境に貢献するということはこれからの時代に欠かせないことですね。本日は貴重なお話をありがとうございました。

住宅版エコポイント制度 の概要

「住宅版エコポイント制度」は、地球温暖化対策と景気回復を目指して創設された制度。エコ住宅の新設・エコ住宅へのリフォームを行った場合、さまざまな商品・サービスと交換可能なポイントが取得できます。

発行対象

- <エコ住宅の新築> 平成11年度の次世代省エネ基準を満たす住宅。
- <エコ住宅へのリフォーム> ①窓のエコリフォーム ②外壁・屋根・天井・床の断熱改修 ③バリアフリーリフォーム

発行ポイント

(1ポイント1円)

大きさの区分	1箇所あたりのポイント数			
	内窓設置 ^{※1} ・外窓設置 ^{※2}		ガラス交換 ^{※3}	
	面積 ^{※4}	ポイント数	面積 ^{※5}	ポイント数
大	2.8㎡以上	18,000ポイント	1.4㎡以上	7,000ポイント
中	1.6㎡以上2.8㎡未満	12,000ポイント	0.8㎡以上1.4㎡未満	4,000ポイント
小	0.2㎡以上1.6㎡未満	7,000ポイント	0.1㎡以上0.8㎡未満	2,000ポイント

※1 内窓の交換も含みます。 ※2 増築等に伴って新設されるものを含みます。 ※3 ガラス交換は、交換するガラス1枚あたりにポイントを発行します。 ※4 内窓又は外窓のサッシの枠外寸法を測定します。 ※5 ガラスの寸法を測定します。

●エコポイント対象期間

エコリフォームの場合：平成22年1月1日以降12月31日までに着手した物件で、1月28日以降に工事が完了したもの。

エコ住宅新築の場合：平成21年12月8日～平成22年12月31日に建築着工した物件で、平成22年1月28日以降に工事が完了したもの。

●エコポイント発行の申請期間

エコリフォームは平成23年3月31日まで、エコ住宅の新築は一戸建て住宅が平成23年6月30日まで、共同住宅等が平成23年12月31日まで。

●エコポイント交換の申請期限

平成25年3月31日まで。

●申請窓口

各都道府県の申請窓口

■住宅版エコポイント制度相談窓口

コールセンター **0570-064-717** (9:00~17:00) 国土交通省ホームページ <http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/>

※詳しくはホームページ等でご確認ください。

エコリフォームに最適「ブラマードU」

今ある窓の内側に取り付けるだけ。約60分のスピード施工・お手ごろ価格で二重窓を実現できる「ブラマードU」。今なら住宅版エコポイントもついて、大変お得です。

省エネ効果が格段にアップ

冬の暖房時、窓などの開口部から外に逃げ出す熱の割合は、なんと48%!家の断熱効果を高めるためには、開口部の断熱改修工事が有効です。ブラマードUを設置すると、窓からの太陽熱の侵入と、室内温度の放射を約55~64%と大幅カット。夏涼しく、冬暖かいため冷暖房費が節約でき、CO₂削減にも効果大。そのほか、結露の抑制、外部騒音の遮断や室内の音漏れ対策に有効で、窓が二重になって侵入が困難になるため防犯効果も高まります。

